

## ミラノ便り 最終回



2021年7月から協会HPに突如アップされたミラノ便り。

それ以前からお話をいただいていたのですが、ロックダウン中はそれしか話題も無く、ただただコロナ沈静化を待つのみでした。その後、ロックダウン明けの初夏から僭越ながら寄稿をさせていただきました。ガイドブックとは違う、身の回りで見聞きしたものをお伝えすることをテーマに掲げ、情報を一部省略した上でミラノ便りいたしました。

今回を以って最終回。

毎回読んでくださった方も、たまに読んでくださった方も、ここまでお付き合いくださり誠にありがとうございました🐱

実は10月某日、日本へ帰国いたしました。長い駐在期間ではありませんでした、10年くらいに感じる程に新しい事だらけの濃い時間をイタリアで過ごすことが出来ました。

海外で生活するということは、今までとは異なる文化・習慣の中、それらを受け入れてその国で暮らすこと。当然、そこで得られるものと失うものがあり、やがて思考や行動の変化となって表れます。その結果として、日本への帰国と転職を選択いたしました。

体良く言うのであれば「新しい価値観に触れた結果、違うことにチャレンジしたくなった」ということですが、日本の家族のこともあり、特にイタリアでの家族に対する考え方や距離感には大きく感化され、今回このような決断に至る理由の一つとまでになりました。

松本出身の父からは「ちょんこずくな!!👊」とゲンコツをよくもらったものですが、ある種のノリの軽さは新しい文化へ飛び込むときに非常に役に立ちました。

「何とかなる」「まずはやってみよう」この2つのフレーズだけでイタリアを生き、幸いにも多くの方々の優しさに支えられ、無事に日本へ戻る事ができました🇮🇹

イタリアのホテル出発は土曜日の朝5時。最後は友人が空港まで送ってくれました。一週間の仕事を終えた翌日の朝、一番ゆっくりしたい時間帯。その時間を削ってまで顔を見せに来てくれた心遣いには言葉ありません。彼らとの再会の約束を果たすべく、また、彼らの母国語で意思疎通をするためにもイタリア語の勉強は今後も続きます。

あまり話題とならなかった2020年後半のロックダウン～初夏までの出来事など、ご紹介できなかった事は多々ありますが、ご要望・ご感想等お寄せいただければ幸いです。

2021年10月

Shaun

